

多面的・総合的な選抜により、
国内外からの優秀な学生受け入れを推進

グローバルアドミッションズオフィス

【グローバルアドミッションズオフィスとは？】

大阪大学は、国内外から優秀な学生を受け入れ、各方面で指導的立場に立てるグローバル人材を育成し、世に送り出すという志を有しています。

大阪大学グローバルアドミッションズオフィス（GAO：Global Admissions Office）は、その志の実現のための方策の1つとして、昨年6月1日付けで設置された組織です。

同オフィスは、本学のアドミッション・ポリシーに基づく適切な入学選抜のあり方を研究開発し、多面的・総合的な選抜を実施することにより、国内外から優秀な学生を受け入れ、本学の教育の国際化の推進に資することを目的としています。

オフィス長は未来戦略機構戦略企画室の川嶋太津夫教授が兼任し、専任教員2名（教授1、特任准教授1）、その他関係部局からの兼任教員7名が構成員です。

【優秀な学生確保の第一歩を実施しています】

平成26年度は、AO入試等に係る国内外の大学の調査研究の他、優秀な学生確保の第一歩として海外の高校生を対象に「海外在住私費外国人特別入試（日本語研修・予備教育あり）【I型】」を実施しました。

当該入試は、「日本に来日することなく受験ができること」「学部入学までの半年間、日本語研修および予備教育を提供すること」「成績優秀者への経済的支援（学部入学後に授業料免除または奨学金を支給）を行うこと」を特徴としており、今年の2月16日から19日にかけて、テレビ会議システムを利用して、台湾、中国、韓国、ベトナムの面接会場に集まった受験者に対し面接を行い7名の合格者がありました。



豊中キャンパス文理融合型研究棟5階応接室

テレビ会議システムで面接



海外の面接会場（韓国 KOREANA HOTEL）

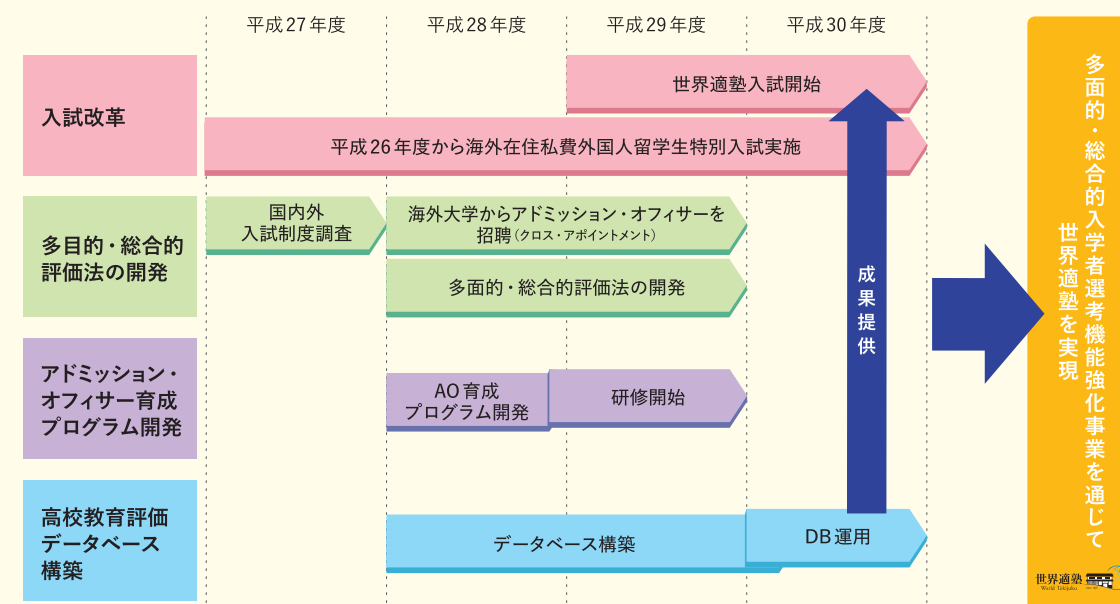
2016年4月入学 海外在住私費外国人留学生特別入試（I型） 概要

対象者 —————
日本国外に在住し、日本国外で学校教育を受け、日本語能力試験レベルN1またはN2相当の者

入学時期 —————
2015年10月 日本語研修・予備教育プログラム開始
2016年 4月 学部入学

本入試の特徴 —————
①日本に来日することなく受験が可能
②学部入学までの半年間、日本語研修および予備教育を提供
③成績優秀者への経済的支援（学部入学後に授業料免除または奨学金を支給）
④学内宿舎に優先的に入居が可能（来日後一年に限る）

グローバルアドミッションズオフィスの今後の活動予定



「グローバルアドミッションズオフィスの今後」

川嶋 太津夫
オフィス長



大阪大学は平成29年度入試から、全学部で後期日程の募集を停止し、代わりに「世界適塾入試」として各学部で推薦入試あるいはAO入試を導入することとしました。これは、大阪大学が、世界で冠たる大学として飛躍するためには、一定の学力を有するだけでなく、多様な才能や経験を有する優秀な学生を世界中から募集し、互いに切磋琢磨することによって、本学の教育研究の質と水準を向上させるとともに、将来のグローバル・リーダーを育成しようとする戦略に基づくものです。他方、現在、国レベルでは、これまでの学力試験を中心とした入学選抜から、部活動、留学経験、ボランティア活動、探求活動など、高校時代の様々な主体的な取組を考慮した多面的・総合的な入学選抜への転換が強く求められています。「世界適塾入試」の導入は、まさに国レベルでの新しい入試方法を取捨する画期的な取り組みです。

本学では、しかし、推薦入試やAO入試は、これまで一部の学部において小規模に実施されてきたにすぎません。今回の入試改革では、最終的には入学定員の約1割に当たる350名を「世界適塾入試」で募集することとなりました。グローバルアドミッションズオフィスには、今年度から開始した「私費外国人留学生特別入試」での経験や海外の入試制度の調査研究を通じて、多面的・総合的な入学選抜方法を各学部と協働しながら開発し、そのノウハウを各学部に提供するという重要な使命を期待されています。

「21世紀の海外学生のリクルート活動」

ジョージ T. シボス Ph.D.
特任准教授



私はグローバルアドミッションズオフィス（以下 GAO）が設立されて数か月後の昨年12月にアメリカの私立大学から大阪大学にやってきました。日本の国立大学に新設されたアドミッションオフィスについては漠然と理解はしていましたが、すぐに大阪大学、そして日本の高等教育にとって「大きな可能性と課題」の時期にやってきたのだとわかりました。GAOでの私の役割は、主にグローバルリクルート戦略の策定と実施ですが、まず、着手すべき課題はGAOを中心とした全学規模での外国人学生のリクルート戦略の体制構築です。現在は部局単位でのリクルート活動をGAOが主体となり、全部局を包括して推進していくべきと考えます。また、世界中の大学が優秀な外国人学生獲得に向けた広報活動を行う中で、大阪大学の魅力的なPRメッセージを発信していくことも重要な課題です。世界中の高等教育機関のデータからわかるように、研究・教育機関のトップ校というだけでは優秀な学生を呼び込めません。卒業生会のネットワーク、大学のメッセージ、イメージ、ブランド力、学生生活、卒業後の進路や生涯学習の重要性などを理解してもらえるよう努めていくつもりです。現在検討中ですが、学内の様々な部局とGAOが協力し、優秀な学生を獲得するための方策の必要性を示す戦略企画を今後提案するつもりです。